

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	いすみ鉄道(株)	県所管課	交通計画課
代表者	代表取締役社長 古竹 孝一	電 話	043-223-2278
所在地	夷隅郡大多喜町大多喜264		
電 話	0470-82-2161		
設立年月日	昭和62年7月7日		
ホームページ アドレス	http://www.isumirail.co.jp/		
事業内容	1 鉄道事業法に基づく第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業 2 鉄道及び自動車運送事業者からの乗車券類の販売及び出改札業務の受託 3 旅行業法に基づく旅行業 4 飲食料品、日用雑貨品の販売及び土産品店の経営 5 広告業		

1 出資等の状況(R3.4.1現在)

(単位:千円)

資本金(又は出捐金)	269,000
------------	---------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	92,000	34.2%	1	
大多喜町	40,800	15.2%	2	
いすみ市	38,400	14.3%	3	
小湊鉄道(株)	15,000	5.6%	4	
(株)千葉銀行	10,000	3.7%	5	
いすみ農業協同組合	8,000	3.0%	6	
(有)大多喜城ゴルフ倶楽部	5,000	1.9%	7	
勝浦市	4,400	1.6%	8	
御宿町	4,400	1.6%	8	
(株)千葉興業銀行他31者	51,000	19.0%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(R3.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体		
	県		
	市町村		
	国又は政府系機関		
	民間法人		
その他			

3 財務状況

(1)貸借対照表から

(単位:千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総資産	120,824	128,467	154,566
負債	65,219	81,461	112,942
(うち有利子負債)	0	0	70,000
純資産	55,605	47,006	41,624
累積損益(利益剰余金)	-213,394	-221,994	-227,376

(2)損益計算書から

(単位:千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総収入 (=売上高+営業外収益+特別利益)	293,049	299,630	280,165
経常損益	-176,017	-194,208	-196,443
当期損益	-36,982	-8,600	-5,382
減価償却前当期損益	-29,970	-2,899	995

4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
借入金残高	0	0	70,000
うち県からの借入金残高			
うち県以外からの借入金残高			70,000
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高			

一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

貸借対照表 純資産 正味財産合計

利益剰余金 一般正味財産

損益計算書 損益計算書 正味財産増減計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) 総収入(=経常収益+経常外収益+当期指定正味財産増加額)

経常損益 当期経常増減額

当期損益 当期一般正味財産増減額

累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

5 県の財政支出の状況

(1) 委託料・補助金等

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	平成30年度	令和元年度	令和2年度
委託料				
補助金・交付金・負担金	いすみ鉄道が実施する、安全性向上に資する設備整備や線路保存費等の費用に対し補助を行うほか、鉄道運行に関する費用を県・関係市町で協調して補助している。	64,392	87,726	89,996
合計		64,392	87,726	89,996

(2) その他

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利子補給				
税の減免額				
出資金				
貸付金				
上記以外のもの				
合計		0	0	0

(3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	平成30年度	令和元年度	令和2年度
委託料のうち再委託したもの				
再委託のうち入札によるもの				
再委託のうち随意契約によるもの				

6 役職員の状況

(1) 役職員数(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
常勤役員数	1	1	1
うち県退職者	0	0	0
うち県派遣職員	0	0	0
常勤職員数	9	12	22
うち県退職者	0	0	0
うち県派遣職員	1	0	0

(2) 役職員の平均年収等の状況

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
役員数(県派遣又は県OB)	1人(0人)	1人(0人)	1人(0人)
役員平均年齢	*歳	*歳	*歳
平均年収(千円)	*千円	*千円	*千円
職員数(県派遣又は県OB)	8.5人(1人)	13.2人(0人)	22.0人(0人)
職員平均年齢	51.3歳	52.2歳	54.2歳
平均年収(千円)	4,759千円	3,896千円	3,809千円

対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)

役職員数は実人員を記入してください。

平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

役職員数は実人員を記入してください。

令和3年度中の毎月1日現在の役職員数を合計し12か月で割り、小数点第2位を四捨五入してください。

例:4月の役員数が5名、9月末で1名減り、年度末は4名であった場合は4.5人となります。

令和3年度の平均年収については推計となる。

7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	委員会等による経営改善
改革方針(概要)	・平成22年度に作成した長期収支見込みに比べ、実際の収支が悪化しており、累積損失が多額に及んでいることから、「いすみ鉄道活性化委員会」において、活性化策の事業効果の検証など経営分析を行い、旅客運輸収入の増加策等を検討するなど、黒字化の目標年次である平成31年度に向けて経営改善に取り組む。
取組状況	・平成29年度の「いすみ鉄道活性化委員会」において、過去の決算分析を行い、事業別の課題等が整理されたことから、これを踏まえ、関係者が一体となって、収支改善に向けた取組を行っていくこととし、新たに長期収支計画を策定した。 ・会社においては、長期収支計画に基づき、事業別の収支管理を徹底した上で、事業毎の最適な運営方法を検討するなど、戦略的な事業運営を行い、一層の収支改善に努めることとしている。 ・令和2年度は、「いすみ酒BAR列車」の運行や、接続する小湊鐵道との乗り継ぎ改善に向けたダイヤ改正など、鉄道利用の促進に取り組むとともに、更なる経費節減や、付帯事業の収支改善に向け、老朽化した「キ八」車両の運行を応援してもらう「キ八倶楽部」の創設など、様々な企画を実施したが、感染症の拡大に伴う利用者減少等もあり、黒字化の達成には至らなかった。 ・引き続き、鉄道利用の促進や付帯事業の収支改善に向けた取組を進めることにより、経営改善に努めていく。
その他(特記事項等)	

*平成28年4月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。